

○三陸北部森林管理署の「採材・森林作業道現地検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署等の採材現地検討会に参加し、技術指導や情報提供など行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

今年度の現地検討会の皮きりとして、平成28年6月15日(水)に三陸北部森林管理署管内の上大板屋国有林で開催された採材・森林作業道現地検討会に、青森事務所から2名が参加してきました。

当日は向かう途中、小雨交じりで天候が心配でしたが、現地に着くと熱いくらいの快晴で、総勢60名近い参加者により、さらに熱い検討会となりました。

三陸北部森林管理署管内の特徴として、造林地はカラマツが多いため、現在、生産量の大部分を占めており、今回の会場もカラマツの造林地でした。

はじめに森林作業道の作設について、現地でのバックホウによる実演を交えた検討会を実施し、次に土場へ移動してカラマツ採材について検討及び意見交換を行いました。

青森事務所からは最近の情勢を踏まえた採材の指導及び情報提供と、最後に講評を話させていただき、大変有意義な現地検討会に参加させていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

